

コンサルタントの現場から

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

第212回 できる人の共通点

リスクや課題を想定して事前に準備

「できる」と言われる人は、どんな状況下でも、どんな場面でも、それを踏まえた適切な対応をする。その姿を見ると、すごいとか流石ということになるのだが、実はそれができるのは、事前にどのようなリスクがあるか、また顧客がどのような課題があるかを想定して、事前に準備しているからだ。

例えば、納期を常に守れるのは、遅れる可能性があるのではないかとこの事項に対して事前に対応しているからだ。例えば、サプライヤーで品質不良があって部品の納期が間に合わなかったために生産が遅れてしまうということはある。サプライヤーでの品質不良が原因なのだが、できる人は、危ないサプライヤーに対しては、事前に品質問題を発生させないように手を打つ。だから、できる人が担当すると納期問題が発生しない。

また、確実に受注を獲得できる営業マンは、単なる御用聞きではなく、顧客の状況や課題を常に把握し、顧客の立場で考えることによって、自社がどう役立てるかを考え、顧客から言われる前に事前に提案すべきことを準備している。言われてから考えるのではなく、言われる前に提案できる営業マンはより多く受注ができる。

同様に、できる技術者は、設計する際に、こんな使い方をされるかもしれないと、考えられる品質リスクを明確にして事前にそれに対応した設計をする。だから品質問題が発生しない。

言い換えれば、できる人はあらゆるリスクや顧客課題を想定して事前に準備しているから、どんな状況にも対応できるのだ。単に優秀だからというのではなく、その陰には、ものすごい努力と事前の準備をしているということだ。

協力を得る力、知恵を集める力

2つ目の共通点は、皆の力を引き出す力があるということ。その一つが

協力を得る力であり、また、知恵を集める力だ。所詮、一人の知恵や一人だけでできることには限りがある。素晴らしいと言われるだけのことを実現するには、また、素晴らしい対応をするためには、多くの人の協力を得ると共に、多くの人の知恵をどれだけ集めることができるかが鍵となる。できる人は、日頃から知恵を集める努力をしている。

実際、コンサルティングでお邪魔している企業でも、「ちょっと見ていただけませんか」とか、「ちょっと相談に乗っていただきたいことがあるのですが」と、顔を見ると声を掛けてくる方がある。ちょっとした機会を捉えて意見を聞こう、アドバイスをもらおうという姿勢が、こういうところにも表れる。

また、知恵を集めるために適切な情報発信をしている。情報発信しなければ知恵は集まらないからだ。「今、こんなことをしているのですが」と発信することで、はじめて、知恵がもらえる。

さらに、できる人は、やらせるではなく、皆が自ら考えてやれるというように持って行く。やらされるというのは、楽しくない。担当者が自ら知恵を出すという機会を奪うだけだからだ。できる人は、いかに皆に知恵を出して取り組んでもらえるようにするかを考える。

明るさが重要

「できる人」に共通するのは、明るいということ。いつも厳しい顔で、言いたいことも言えないような人に知恵は集まらない。明るく、何でも言える人には、皆が気付いたことを言え、相談するので、自ずと知恵が集まる。この人と話しをしていると楽しいという人には、皆も協力する。できる人になるためには「明るさ」も重要なのだ。

<執筆者プロフィール>



高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 / 常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

エンジニアのための技術基礎研修

タイ人エンジニアをどう育てたらいいかわからない?

タイ人エンジニアの社内教育お任せください。



- ✓ タイ人大学講師によるタイ語での分かりやすい出張講義です。
- ✓ 貴社のエンジニア・テクニシャンのスキルがレベルアップします。
- ✓ テキストは日本語、タイ語、英語の3言語をご用意。



「To-Beエンジニア試験」「To-Beメンテナンス技術試験」

タイ人エンジニアの本当のレベルがわからない?

タイ人エンジニアの基礎力診断お任せください。



- ✓ 日本で長年の歴史。東証一部上場企業を含む600社以上が受験。
- ✓ モノづくりに必要な技術基礎知識を問うタイ語(英語)の試験問題。
- ✓ 技術基礎力を「見える化」。昇進・入社試験等で適正人材を確保できます。

1969年より日本で技術系通信教育と技術研修を通じて企業の人材育成を支援してきた工学研究社が「To-Be エンジニア試験」「To-Be メンテナンス技術試験」、および「To-Be エンジニア研修テキスト」を作成しています。

工学研究社ホームページ

「To-Beエンジニア試験」

http://www.cogaku.tokyo/tobeEX/tobe_1.html

「To-Beメンテナンス技術試験」

http://www.cogaku.tokyo/tobeMT/tobe_mt1.html

お問合せ先

Bangkok Shuho International Co., Ltd.

Charn Issara Tower 1st Fl., 942 / 43 Rama 4 Rd., Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500

Tel : 02-632-9179 Fax : 02-632-9354-5

E-mail : info@bangkokshuho.com 担当: オイル(日本語・タイ語)、臼井